

2020年3月31日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「資源ツインαファンド(通貨選択型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「資源ツインαファンド(通貨選択型)」の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 「資源ツインαファンド(通貨選択型)」の基準価額

コース名	2020年 3月30日 基準価額(円)	2020年 3月31日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
ブラジルリアルコース	299	282	▲17	▲5.69
トルコリラコース	404	383	▲21	▲5.20

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2020年3月27日	2020年3月30日	騰落率 (%)
WTI 原油先物価格	21.51	20.09	▲6.60
COMEX 金先物価格	1,654.10	1,643.20	▲0.66

(小数点第3位四捨五入)

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、3月27日と3月30日と比較しています。
WTI 原油先物価格の単位は米ドル/バレル、COMEX 金先物価格の単位は米ドル/トロイオンスです。

	2020年3月27日	2020年3月30日	騰落率 (%)
ブラジルリアル(対米ドルレート)	0.1956	0.1943	▲0.69
トルコリラ(対米ドルレート)	0.1549	0.1520	▲1.90
米ドル(対円レート)	108.19	108.09	▲0.10

(ブラジルリアルとトルコリラは小数点第5位四捨五入、米ドルおよび騰落率は小数点第3位四捨五入)

為替レートは、WMロイター社が発表するロンドン時間午後4時のレートです。
ブラジルリアル(対米ドルレート)とトルコリラ(対米ドルレート)の単位は米ドル、米ドル(対円レート)の単位は円です。
各レートについては基準価額への反映を考慮し、3月27日と3月30日と比較しています。

出所:ブルームバーグ

◆足許の状況

新型コロナウイルスの感染拡大の防止策として、世界中の主要都市でロックダウン(都市封鎖)が相次いで実施されたことによる経済活動の大幅な縮小に伴う需要の急減に加え、サウジアラビアやロシアをはじめとする主要産油国による増産方針が原油の需給環境を著しく悪化させるとの懸念から、2020年3月30日の原油先物価格は引き続き大幅に下落しました。新興国通貨に関しても、資源価格の下落や政治・地政学リスクの回避姿勢の高まりを受けて、軟調な動きが続いています。金先物価格が米国株式市場の足許での反発を受けて小幅に下落したものの、米ドルも対円で売られました。

このような市場動向により、当該ファンドの基準価額は前営業日比で5%超の下落となりました。

◆今後の見通し

原油先物相場は引き続き不安定な展開が見込まれます。主要産油国のサウジアラビアとロシアが増産姿勢を示したことによる過剰供給への懸念や、新型コロナウイルスの感染拡大による世界景気の停滞を背景とした需要の減少が需給の両面から原油価格に下落圧力をかけています。米ロ首脳は電話会談を行い原油価格の先行きについて協議したものの、市場を反転させるほどの好材料となりませんでした。現在の原油価格は、採算性の観点から米国の多くのシェールオイル企業が生産を続けていくのには難しい水準にあると見られており、一定の需給改善要因になると考えられるものの、新型ウイルスの感染拡大による世界景気への打撃がどの程度原油の需要に影響を与えるかなど先行きが不透明な中、大幅な原油価格の反発への期待は薄いと思われます。上記の世界的な景気の不透明感に加え、脆弱な財務基盤や政治・地政学リスクなど不安定な要素が多い新興国においては、通貨への警戒感が強く、ブラジルレアルやトルコリラの為替相場も不安定な動きが続くと見込まれます。米国内での新型コロナウイルスの感染者が増加し続け、中国を抜いて世界最多となっていることから、米ドル相場も荒い値動きとなる可能性があります。足許で米長期金利の低下に一服感がみられることなどを踏まえれば、対円での下落は一定水準に留まる可能性があると考えられます。

以上

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.40%(税込)

信託財産留保額・・・上限 解約金額・償還金額の1.00% または1口(設定時1口1万円)あたり250円

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 年2.035%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

*詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。